

再就職対策 認識を共有

ダイヤモンド電機
社長、県市と面談

鳥取工場(鳥取市南栄町)で120人の早期希望退職者を募集するダイヤモンド電機と親会社のダイヤモンドエレクトリックホールディングスの小野有理社長が17日、平井伸治鳥取県知事、深沢義彦鳥取市長と面談し、早期退職募集に至った経緯や取り組みの現状を説明した。

小野社長は、早期退職者

募集の計画発表後に県、市連名で鳥取工場の操業継続や希望退職者の県内再就職対策などを求める要望書が提出されたことを受け、両首長に直接説明し、認識を共有する必要があるとして来県した。

非公開の面談後、小野社長は取材に「会社の責任として、従業員の意向も踏ま

えて再就職のあっせん、鳥取工場の立て直しに取り組む中で、県、市からの突然の要望書に当惑した。知事、市長とは面談で共通認識に至った。今後は再就職の状況を説明しながら、手伝っていたる部分は連携して取り組んでいく」と語った。(真田透)

知事 日誌

(17日)

13時、小野有理ダイヤモンドエレクトリックホールディングス社長ほか。55分、読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」リモート生出演。15時15分、日本労働者協同組合連合会からのフェースシールドなど寄贈式。30分、鳥取環境大環境学部・徳田悠希講師からの南極地域観測隊帰還報告会。50分、「GOTOトラベル事業」の実施に関する共同取材。